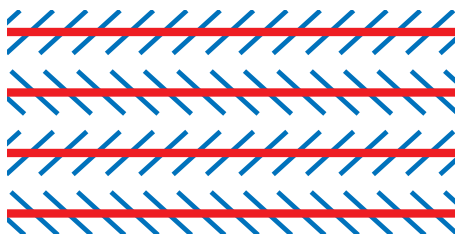


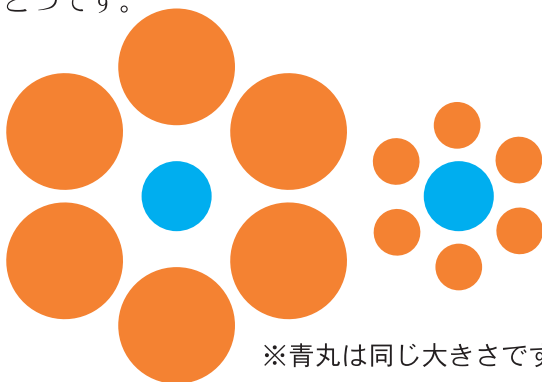
意外と身近にある「錯視」とは

人間の脳は目に見えるものを画像として認識し、この画像をもとに立体として復元します。脳は復元する際に直角や平面、対称といった好きな形を優先するため、図形や立体の色や大きさ、形、模様などで錯覚してしまうことがあります。この錯覚を「錯視」と呼びます。

例えば、水槽の手前を広く奥に行くほど狭くすることで実際より広く見せる手法や、静止している絵が動いて見えるものもあります。月や太陽が地平線に近いほど大きく見えるのも錯視のひとつです。



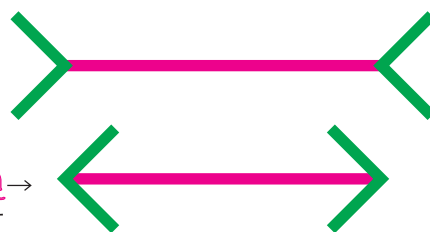
※赤線は並行です



※青丸は同じ大きさです

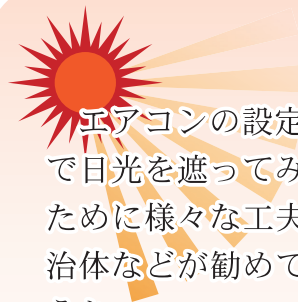
身近なのは目が大きく見える「つけまつげ」。脳が奥行きを勘違いして遠いと感じた線が長く見える「ミューラー・リヤー錯視」を利用しています。

ミューラー・リヤー錯視→
※ピンクは同じ長さです



※中の四角は同じ色です

下のコードを読み取ればグレーが同じ色かどうかを確認できます



エアコンの設定温度を高めにしたたり、すだれやよしずで日光を遮ってみたり。節電しながら暑い夏を乗り切るために様々な工夫をされているかと思います。近年、自治体などが勧めている「クールシェア」をご存知でしょうか。



ご存知ですか？ クールシェア

クールシェアは、涼しいお店などで過ごすことで家の冷房を使わず節電につなげるというもの。クールシェア対応メニューや特典が受けることができるお店もあるようです。クールシェアは図書館や公民館、ショッピングモールなどでも行っています。取り組んでいる施設などはホームページから確認できます。

シェアスポット <http://sharemap.jp/>

